

1989 1/4~6

乗鞍岳

メンバー：佐藤 晶彦 他1名

冬休み後半は、山岳部顧問の〇先生と行動を共にした。〇先生は信州大ワンゲル出身で、学生時代は乗鞍に毎年通ったそうである。私にとっては、83年冬以来二度目である。前回はY.S.社に入会して、初めての山スキーで、天候、雪質に恵まれて楽しむことができ、非常によい思い出をした山である。今年は北アルプスは雪が多いということで、ひそかに新雪滑降を期待していたが、そう甘くはなかった。しかし、天候には恵まれて、それなりに楽しむことができた。

1月4日(水) 雪 乗鞍高原スキー場(位ヶ原)

所沢から朝出発する。今日は位ヶ原に入るだけだから急ぐ必要はない。〇先生も常念からの転戦で、塩尻で合流し、〇先生の車で乗鞍に向かう。駐車場で支度をし、リフトを乗り継いで2000mまで上がる。最近は休みが長くなって、4日でも結構ゲレンデが混んでいる。スキー場も、かなり広げて整備をしているようで、ヘアリフトが多くなった。最終リフトのオッサンは欲求不満らしく、「ザックのカラビナは危ないからしまえ」「ヘアリフトに一人で乗るなら2枚、券を置いて行け」などうるさい。リフトに乗ってしまうまでは、大人しくしていた方がよいだろう。そのうちに、ザックを背負ってはリフトに乗せてもらえなくなるかもしれない。

リフト終点でシールを着ける。私は今回、道具を一新した。ブリザードの板に締具はベツル、靴は加藤さんからお借りしたハンワグ・エアウェイトパワーである。靴については、仙丈で試してある。あれだけ歩いても大丈夫なのだから、足には合っているのだろう。新しい板で滑るのが楽しみだ。色がピンクなのが、ちょっと恥ずかしい。

従来はリフト終点から、右手の樹林帯に入っていったが、ツアーコースと称してほぼ東に切り開きができていてこれを利用する。雪がチラついてきたがルートの間違える心配はなく、2435.8mの三角点当りの車道に出る。少しリッチな食料にしたのでザックが重いが、2時間ちょっとで位ヶ原に着いた。山荘から200mほど乗鞍側に寄った所にテントを張る。夜は風が強く、少し寒かった。

タイム：リフト終点1340ー位ヶ原1550

1月5日(木) 晴れ 乗鞍岳登頂、周辺滑降

朝になっても依然として風強いが、外へ出てみると快晴なので乗鞍山頂を目指す。位ヶ原の台地に上がると展望が開けてくる。回りを見渡すと富士見岳、大黒岳などの斜面もスキーには快適そうだ。乗鞍本峰は、朝日岳からの小沢沿いのルートが積雪十分で良さそうなので、ここを滑ることにする。相変わらず風は強く、2610mの小屋(便所?)の陰でひと休みして朝日岳に向かう。クラストした雪面でスキーアイゼンが有効だ。2850m付近からは傾斜がきつくなり、アイゼンに履き替える。振り返ると楢・穂高が雄大だ。朝日岳と朝峰(頂上)の鞍部にスキーをデポし、空身で頂上を往復する。時々、体ごともっていかれそっになる程強い西風が吹いて、歩くのに苦勞した。

鞍部へ戻って待望のスキー滑降だ。上部は堅い雪だったが、沢状の部分にはちようどよく柔らかい雪が吹き溜っていて、快適に小屋(便所)まで滑ることができた。ここで足のスネを痛めてしまったO先生はBCへ先に帰り、私は富士見沢を滑るため、シールを付ける。稜線へ出るとどこでも西風が強い。富士見岳直下でシールを外し、滑降に移る。下に小さく見えるBCのテントまで一直線の下りである。前回のような新雪滑降とはいかず、堅い雪だが、これだけの広い斜面を一人占めして滑る気分は最高だ。10分もかからずに滑り降りてしまった。

テントではO先生が、山スキーではなくウイスキーをやっていた。足の具合は少し悪そうだ。まだ時間が早いので、O先生には悪いが、私は大黒岳に向かう。ラッセルがないので、1時間弱で大黒と富士見の鞍部に登ることができた。稜線近くはやはり雪が堅い。またもや10分もかからずにBCへ滑り降りる。板の具合も良く、今日は充実した山スキーであった。

タイム：位ヶ原730ー小屋(2610m)820/35ー乗鞍岳1010ー小屋1045/1105ー富士見沢上部1140/50ー位ヶ原1200

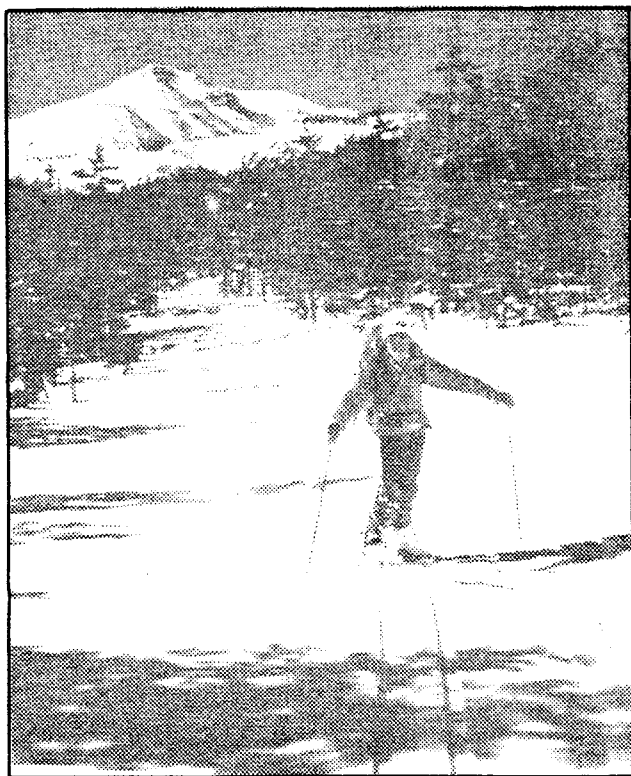
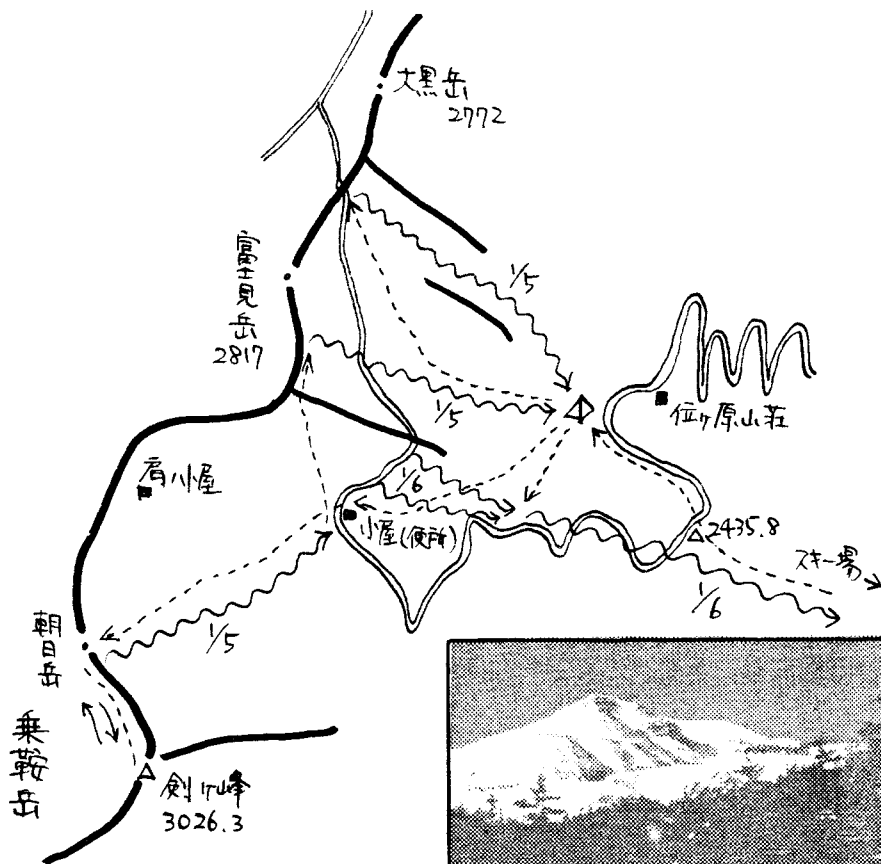
1月6日(金) 晴れ 周辺滑降、下山

今日も快晴、風がなくなりおだやかである。テントを撤収して位ヶ原の台地の上まで登る。荷物をデポして、小屋(便所)の北のおいしそうな斜面を2本滑る。昨日は1日中風が強かったなので、沢筋の雪も少し堅めだが、空身なので快適だ。

帰りは登ってきた切り開きのツアーコースを下った。山の中では誰にも会わなかったが、ここにはゲレンデスキーヤーも登って来るようで、シニアボールが付いている。ゲレンデに出るとやはり滑り易い。パトロールに下山報告をして、ゲレ

ンデをスットバシテいった。天気が良く、下は春のような陽気であった。ゲレンデからも東麓の美しい姿を望むことができ、特に富士見沢の大斜面が印象的であった。

タイム：位ヶ原905 - (周辺滑降) - 台地(2550m) 1110 - ソフト上部 1140



1/6 乗鞍岳をバックに

スキー場上部の切り開き